

第71回

会社訪問

ホダカ株式会社

会社プロフィール

代表者：専務取締役 二反田真也

所在地：〒165-0034 東京都中野区大和町1-6-8 ホダカビル（東京オフィス）

TEL：03-3330-6433 FAX：03-3330-6434

設立：1947年（創業：1930年）

資本金：1,000万円

従業員：34（要確認）名

本社：大阪本社

事業内容：オイルバーナー・ガスバーナーの製造・販売、燃焼排ガス分析計の製造・販売、環境計測器の開発・販売・サービス

URL：<http://www.hodaka-inc.co.jp>



ホダカ（株）専務取締役 二反田 真也 氏へのインタビュー

聞き手：中村友香（広報委員） 岡田康弘（事務局主事）

（編集協力：クリエイティブ・レイ株）

省エネと安全性の向上に貢献する“バーナー&計測器”メーカー

— 御社の主な事業内容を教えてください。

当社のメインとなる事業は3つあります。1つがオイルバーナーやガスバーナーの製造・販売、2つめがオイルバーナーやガスバーナーの関連部品の製造・販売、3つめが計測器の開発・製造・販売です。

当社は大阪で長くバーナーの製造販売に関わってきましたが、計測器は1990年代にスタートした事業で、現在はポータブルタイプの燃焼排ガス分析計、ガス検知器、そして空気やガスの圧力を計測するデジタル式マノメーターなどを扱っています。なお、これらの計測器はレンタルも行っています。

— 計測器の事業はどのような経緯で始められたのでしょうか、また、その特長はどのような点なのでしょう。

計測器は1989年にドイツのガス分析計メーカーと販売提携し始めたことに始まり、その後、国産機を作ろうと96年にポータブルタイプの「ホダカテスト HT-1300」を発売しました。その当時、日本にはコンパクトな排ガス分析計はなかったのですが、「ホダカテスト HT-1300」を出すと、それが相当数売れました。

そこから「ホダカテスト」シリーズとして機器の改良を重ね、現在は「ホダカテスト HT-2300」という排ガス分析計が出ています。これは本体重量が約700gと軽量コンパクトありながら、温度とともに、O₂、CO、高濃度CO、NO、NO₂、SO₂の中から4成分を選んで計測できるなど、多くの機能を搭載しています。燃焼排ガス分析計は油やガス燃料が効率よく燃焼しているかを調べるもので、きちんと燃焼していれば、それだけ省エネにつながるわけです。主

左：
小型デジタルマノメーター
NT-1500N

右：
燃焼排ガス分析計
NT-2300
ハンディタイプ





大阪本社・工場風景



大阪本社・
工場風景とスタッフ

にボイラーや工業炉などのある工場や研究機関、給湯器の点検などに使われますが、最近は厨房機器などの一酸化炭素の測定などにも用いられることもあります。

ガス検知器は配管のガス漏れの検知に、また、マノメーターは最近では割と多方面に使われるようになっています。例えば、通常マノメーターは空調関係に使われますが、人工呼吸器の圧力を測るため医療関係からも引き合いがあります。当社のデジタル式マノメーターは価格面の手軽さとコンパクトさが特長で、パスカルやミリなど計測単位の切り替えも容易にできます。

— 御社の創業は1930年、設立が1947年、また、東京都中野区に東京オフィスがありますが、設立の経緯などを簡単に教えていただけますか。

創業者から数えて私は4代目になるのですが、当社はもとは大阪市で「大阪オイルバーナー工業所」として創業。戦時中には海軍の監督工場に指定され、各地で海軍の工業炉の建造にも関わったという事です。戦後にな



石炭主流の中で重油燃焼に取組み、
オイルバーナーの研究開発を行う。
創業者 二反田 千代松氏

り1947年に「穂高金属工業株式会社」として法人に改組、以来、大阪でバーナーメーカーとして歩んできました。

私がいるこの東京オフィスは、2004年に計測器の営業所として開設しました。開設当初は私一人が赴任し、まさにゼロからお客様を回って、ホダカの東京オフィスがありますとお知らせするところから始めました。東京オフィスは静岡県より東の地域を受け持っていますが、努力の甲斐もあり、今では西と東の計測器の売り上げの比率は半々ほどになっており、今後も東日本での需要は伸びていくものと思っています。

— 御社の経営理念や経営方針などをお聞かせいただけますか。

当社の経営理念の中に、「物心に亘る最高の信頼と一流の技術力を得るために常に努力し、少数精鋭主義の下に見事に調和された人間性豊かな企業をめざす」という言葉があります。それが示すように、社員数はあえて多くせず、営業なら営業、生産なら生産のプロフェッショナルな人材を育て、責任を持ってお客様に商品を提供していくことを大切にしています。

そうした中で生まれてきたポータブルタイプの燃焼排ガス分析計などは、お客様の要望に応えつつ、これまでも細かな改良を加えマイナーチェンジを繰り返してきました。今後も、その分野のパイオニアとして、良い製品をご提供し続けたいと思っています。

— 今回、当協会へは新規にご加入いただきましたが、協会へのご意見やご要望がありましたら、お願いいたします。

協会主催の懇親会などで私たちの顧客企業やディーラーの方々と一度にお会いできるというのは、貴重な機会だと思っています。そこでお客様とゆっくり話をしたり、また、今後は当社の計測器を扱っていただけるディーラーの方々とのお付き合いを広げていきたいと考えておりますが、そうした出会いの場として活用させていただきたいと考えています。